

平成27年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況の
点検及び評価の報告書

(対象：平成26年度実施事務及び事業等)

平成27年12月

九戸村教育委員会

目次

I 【概要】

1. 教育委員会について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
九戸村教育委員会
2. 本報告書について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
3. 対象とする事務及び事業等と点検・評価の方法について・・・・・・・・ 2
意見をいただいた学識経験者・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
4. 平成26年度九戸村教育基本方針及び施策・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
5. 平成26年度九戸村教育委員会重点事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

II 【教育委員会の活動状況等】

1. 教育委員会の会議の開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
2. 会議以外の活動状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

III 【参考資料】

1. 平成26年度 教育費内訳（決算額）・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

IV 【重点的な事務及び事業等の点検及び評価シート】

(1) 学校教育行政の主要施策

- ① 推進体制の充実 校長会議・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- ② 推進体制の充実 教員研修の充実・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
- ③ 学校教育の充実 学習指導の充実・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
- ④ 学校教育の充実 生徒指導の充実・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
- ⑤ 学校教育の充実 連携教育の充実・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
- ⑥ 学校教育の充実 キャリア教育の充実・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
- ⑦ 学校教育の充実 時代に対応する教育の充実・・・・・・・・ 19
- ⑧ 特別支援教育の充実 就学支援の充実・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
- ⑨ 学校保健・安全教育の充実 学校給食の充実・・・・・・・・ 21
- ⑩ 学校保健・安全教育の充実 健康教育の充実・・・・・・・・ 23
- ⑪ 高校教育の支援 高校教育の振興・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
- ⑫ 就学奨励費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25

⑬ 教育環境の整備 施設設備の充実	26	
(2) 社会教育行政の主要施策		
① 生涯にわたる社会教育活動の充実	推進体制の確立	28
② 生涯にわたる社会教育活動の充実	指導體制の確立 教育振興運動	30
③ 生涯にわたる社会教育活動の充実	家庭教育の充実 家庭教育学級	31
④ 各期における社会教育活動の充実	青少年の健全育成 放課後子ども教室	32
⑤ 各期における社会教育活動の充実	青少年の健全育成 九戸村学校支援地域本部事業	33
⑥ 各期における社会教育活動の充実	青少年の健全育成 九戸村地域子ども読書会	34
⑦ 各期における社会教育活動の充実	青少年の健全育成 戸のまち交流事業	35
⑧ 各期における社会教育活動の充実	女性教育 女性教室	36
⑨ 各期における社会教育活動の充実	女性教育 婦人団体	38
⑩ 各期における社会教育活動の充実	高齢者教育 生涯学習アカデミー	39
⑪ 国際交流推進に向けた取り組みの充実	青少年海外派遣事業	41
(3) 文化行政の主要施策		
① 文化の振興 鑑賞機会の提供	42	
② 文化の振興 発表機会の拡充	43	
③ 文化財保護の充実 黒山の昔穴遺跡の保存・保護活動		
	国指定に向けた調査活動	44
(4) 公民館運営の主要施策		
① 生涯学習の推進 公民館の利用促進	45	
② コミュニティー活動の推進 地域公民館活動の支援	46	
③ 読書活動の推進	48	
④ 結婚相談所の充実	50	
(5) 生涯スポーツ行政の主要施策		
① 推進体制の充実	51	
② 実践活動の推進	53	
③ 施設の整備・活用	54	
④ 希望郷いわて国体の推進	56	

I 【概 要】

1. 教育委員会について

教育委員会は、首長から独立した立場ですべての都道府県及び市町村等に設置され

- ① 学校やその他の教育機関を管理し、学校の組織編制、教育課程、教科書その他の教材の取扱い及び教育職員の身分の取扱いに関する事務を行う。
- ② 社会教育その他教育、学術及び文化に関する事務を管理、執行する。とされており、委員の合議によって事務局を指揮監督し職務を遂行する行政機関です。

委員は、人格高潔で、教育、学術及び文化に関し識見を有するものうちから、村長が、村議会の同意を得て任命します。その定数は5人とされており、九戸村教育委員会でも5名で構成されています。(下段参照)

その任期は、4年で再任が認められます。

そのうち、委員長は任期は1年で、委員の中から選挙され、教育委員会の会議を主宰し、委員会を代表します。

教育長は、教育委員の中から教育委員会が任命し、教育委員会の指揮監督のもとに教育委員会の権限に属するすべての事務を司ります。

また、これらの事務を処理するため、事務局が置かれます。

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」により平成27年4月1日からは、経過措置の後に教育委員会を代表する新たな責任者（新教育長）が置かれる等、教育委員会の仕組みが大きく変わります。

.....

九戸村教育委員会委員

(平成27年10月1日)

委員長 千葉 和彦

委員長職務代理者 伊保内 啓子

委員 河村 敏弘

委員 岩崎 悦和

委員（教育長） 漆原 一三

2. **本報告書について**

この報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に定めるところにより、九戸村教育委員会の権限に関する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行った結果を、本報告書に取りまとめて作成し、これを九戸村議会に提出するとともに、公表するものです。

3. **対象とする事務及び事業等と点検・評価の方法について**

対象とする事務及び事業等については、平成26年度に実施した事務及び事業等のうち、点検・評価を行うにあたり九戸村教育委員会重点施策等から特に重要と思われるものについて選定し、その概要と実施状況等について取りまとめたうえで、まず、事務局担当者による点検・評価を行い、次に、教育に造詣の深い学識経験者3名からご意見をいただき、「重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート」に取りまとめました。

.....

意見をいただいた学識経験者

宮 川 義 隆 氏 (九戸村 伊保内)

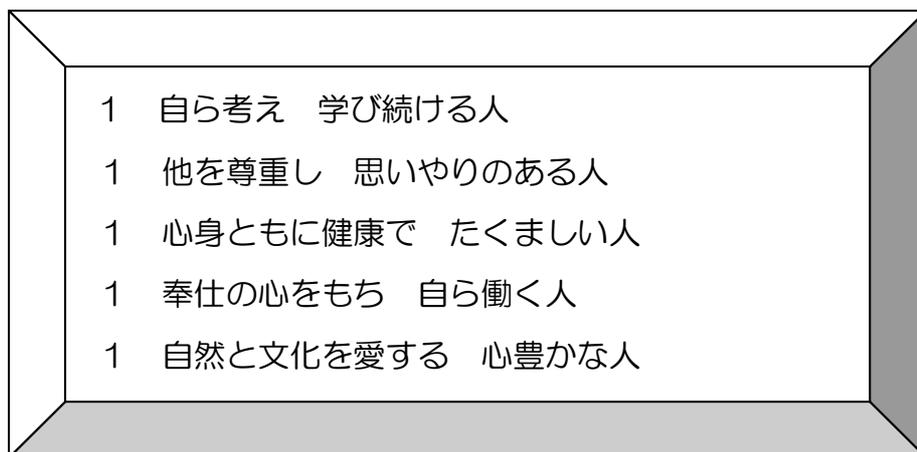
村 田 勝 義 氏 (九戸村 戸田)

細 川 育 子 氏 (九戸村 江刺家)

4. 平成26年度 教育行政方針及び施策

《九戸村教育目標》

活力と潤いに満ちた村づくりのために、知・徳・体の調和がとれ、創造性に富み、広い視野で社会の変化に対応できる能力と行動力を持つ人間性豊かな村民の育成に努める。



I 教育行政基本方針

- 1 これからの社会を担う人材の育成のために、学校・家庭・地域等の連携をこれまで以上に充実させ、新九戸村総合発展計画をもとに時代のニーズに対応し、創意工夫した教育を展開していくことが重要であり、村民一人ひとりが生涯にわたって主体的に学びながらその成果を社会に生かしていく生涯学習社会の発展に努める。
- 2 関係機関との連携により、地域に開かれた学校づくりを推進する。各学校において児童・生徒の学びを保障し、いのちを大切にする創意ある教育課程を編成し、社会の変化に主体的に対応できる心豊かでたくましい児童生徒を育む。

II 平成26年度教育行政実施方針

教育行政基本方針を踏まえ、平成26年度の教育行政を推進するに当たっては、次の方針に基づき「心豊かな村民を育む教育・文化の充実」を図るための諸施策を実施する。

1 生涯学習環境の整備

すべての人々が人生の各段階で、学ばなければならないことや学びたいことを学びたいときに自らに適した方法で学び、その成果が適正に評価され、社会に還元される生涯学習社会の構築を目標とする。その実現のために学校・家庭・地域等との連携を深めながら、生涯学習を推進する体制を充実させるとともに多様な学習機会の提供や広報活動を通じて、生涯学習に対する村民の理解と意欲の高揚に努める。

2 学校教育の充実

教育行政に対する村民の期待と信頼に応えるため、各学校において学校評議員制度及び学校評価制度を効果的に運用することにより保護者や地域の人々の学校教育に対する意見や要望を的確に把握したり、地域の人々に学校教育への協力を求めたりしながら家庭や地域社会との連携に努め、地域に開かれた学校づくり及び安全な学校づくりを推進する。

3 社会教育の振興

生涯学習の一層の振興を図るため、学校や各種社会教育団体との連携を深めながら生涯にわたる学習活動や自らの意志に基づく社会教育活動を奨励する。また、人間形成の基礎を培う家庭教育の充実や復興・防災に関する学習をはじめ、自らを高め、豊かな人生を送られるよう多様な学習機会と各種の学習情報を提供しながら自主的な学習活動を推進する。

4 文化の振興

村民の文化活動の成果の発表と優れた芸術の鑑賞機会の提供に努めるとともに、各種文化団体の自主的な活動を支援し、生活に潤いと充実感をもたらす文化活動の一層の振興を図る。また、貴重な文化遺産を保護保存し後世に伝えるため、文化財の調査と適正な管理に努めるとともに伝統芸能保存団体の活動への支援や民俗資料の収集に努める。

5 公民館運営の充実

村の中心的社会教育施設である公民館の機能充実と適正な運営に努めながら、公民館学級など多様な学習機会を提供するとともに、図書の実用により個人の自主的な学習活動を奨励する。加えて、地区公民館活動などの地域活動や社会教育団体の活動を支援するとともに、村民憲章実践運動など地域コミュニティ活動を推進する。

また、少子高齢化や晩婚化、後継者対策などの諸問題に取り組むため専任化した結婚相談員の相談事業の充実を図り、活力ある村づくりを進める。

6 生涯スポーツの推進と健康安全の充実

すべての村民が生涯にわたり明るく豊かな人生を送るために、最も大切な健康を維持増進するため、「村民一人一つのスポーツを」をスローガンに掲げ、「希望郷いわて国体」の開催機運の醸成と併せて個々の日常的なスポーツ活動を奨励し、スポーツの生活化を図る。また、学校、体育団体、地域の連携を深めながら、毎日の生活に楽しみを生み出すレクリエーションの推進に努めるとともに、各競技団体の自主的な活動の助長や指導者の養成、各種大会への参加や開催を通じて競技力の向上を図る。

5. 平成26年度九戸村教育委員会重点施策等

(1) 学校教育行政上の主要施策

- ① 推進体制の充実 校長会議
- ② 推進体制の充実 教員研修の充実
- ③ 学校教育の充実 学習指導の充実
- ④ 学校教育の充実 生徒指導の充実
- ⑤ 学校教育の充実 連携教育の充実
- ⑥ 学校教育の充実 キャリア教育の充実
- ⑦ 学校教育の充実 時代に対応する教育の充実
- ⑧ 特別支援教育の充実 就学支援の充実
- ⑨ 学校保健・安全教育の充実 学校給食の充実
- ⑩ 学校保健・安全教育の充実 健康教育の充実
- ⑪ 高校教育の支援 高校教育の振興
- ⑫ 就学奨励費
- ⑬ 教育環境の整備 施設設備の充実

(2) 社会教育行政の主要施策

- ① 生涯にわたる社会教育活動の充実 指導体制の確立
- ② 生涯にわたる社会教育活動の充実 指導体制の確立 教育振興運動
- ③ 生涯にわたる社会教育活動の充実 家庭教育の充実 家庭教育学級
- ④ 各期における社会教育活動の充実 青少年の健全育成
放課後子ども教室
- ⑤ 各期における社会教育活動の充実 青少年の健全育成
九戸村学校支援地域本部事業
- ⑥ 各期における社会教育活動の充実 青少年の健全育成
九戸村地域子ども読書会
- ⑦ 各期における社会教育活動の充実 青少年の健全育成
戸のまち交流事業
- ⑧ 各期における社会教育活動の充実 女性教育 女性教室
- ⑨ 各期における社会教育活動の充実 女性教育 婦人団体
- ⑩ 各期における社会教育活動の充実 高齢者教育 生涯学習アカデミー
- ⑪ 国際交流推進に向けた取り組みの充実 青少年海外派遣事業

(3) 文化行政の主要施策

- ① 文化の振興 鑑賞機会の提供
- ② 文化の振興 発表機会の拡充
- ③ 文化財保護の充実 黒山の昔穴遺跡の保存・保護活動

(4) 公民館運営の主要施策

- ① 生涯学習の推進 公民館の利用促進
- ② コミュニティー活動の推進 地域公民館活動の支援
- ③ 読書活動の推進
- ④ 結婚相談所の充

(5) 生涯スポーツ行政の主要施策

- ① 推進体制の充実
- ② 実践活動の推進
- ③ 施設の整備・活用
- ④ 希望郷いわて国体の推進

II 【教育委員会の活動状況等】

1 教育委員会の会議の開催状況

平成26年度に開催された九戸村教育委員会の会議は次のとおりである。

期日	区分	議事等
26. 4. 2	第3回臨時会議	・議案第1号 教育長の人事に関し議決を求めることについて
26. 4. 23	第二回定例会	<ul style="list-style-type: none"> ・教育長諸報告 ・議案第1号 委員長職務代理者理指定について ・議案第2号 平成26年度九戸村教育基本方針の議決を求めることについて ・議案第3号 九戸村就学支援委員会委員の委嘱に関し議決を求めることについて ・議案第4号 九戸村社会教育委員の委嘱に関し議決を求めることについて ・議案第5号 九戸村文化財調査委員の任命に関し議決を求めることについて ・議案第6号 九戸村学校給食センター運営委員の任命に関し議決を求めることについて ・報告第1号 就学指定校変更許可について ・報告第2号 区域外就学承諾について
26. 6. 26	第三回定例会	<ul style="list-style-type: none"> ・教育長諸報告 ・議案第1号 九戸村立幼稚園入園の認定についての臨時専決処理に関し承認を求めることについて ・報告第1号 区域外就学承諾について ・報告第2号 平成26年度九戸村一般会計補正予算〈第1号〉の概要について
26. 8. 5	第四回定例会	<ul style="list-style-type: none"> ・教育長諸報告 ・選挙 九戸村教育委員会委員長選挙について ・議案第1号 平成27年度使用小・中学校教科用図書採択に関し議決を求めることについて
26. 10. 14	第五回定例会	<ul style="list-style-type: none"> ・教育長諸報告 ・議案第1号 委員長職務代理者の指定について ・議案第2号 教職員の懲戒処分（道路交通法違反事案）の内申に関し議決を求めることについて ・報告第1号 平成26年度九戸村一般会計補正予算〈第3号〉の概要について

26.12.10	第六回定例会	<ul style="list-style-type: none"> ・教育長諸報告 ・議案第1号 九戸村学力向上推進協議会設置要綱 に関し議決を求めることについて ・報告第1号 平成26年度九戸村一般会計補正予算 〈第7号〉の概要について
27.2.26	第一回定例会	<ul style="list-style-type: none"> ・教育長諸報告 ・協議第1号 平成27年度県費負担教職員の定期 人事異動について ・議案第1号 九戸村立幼稚園管理運営規則の一部 を改正する規則の臨時専決処理に 関し承認を求めることについて ・議案第2号 九戸村学校給食センター運営委員の 任命に関し議決を求めることにつ いて ・議案第3号 九戸村教育委員会議規則の全部を改 正する規則 ・議案第4号 九戸村教育委員会公告式規則の一部 を改正する規則 ・議案第5号 九戸村教育委員会傍聴人規則の一部 を改正する規則 ・議案第6号 九戸村教育委員会公印規定の一部を 改正する訓令 報告第1号 就学指定校変更許可について 報告第2号 就学指定校変更許可解除について 報告第3号 成26年度九戸村一般会計補正予算 〈第9号〉の概要について

2 会議以外の活動状況

教育委員会会議の教育長諸報告を受け、村の教育状況や国、県の教育動向を踏まえ、情報交換と情報共有に努めた。

九戸村議会総務教育常任委員の学校視察等を受け、教育委員との情報交換の場を設け、児童生徒や施設設備の状況を確認し、今後の九戸村の教育の在り方について懇談した。

また、九戸村小中学校長との教育懇談会の場を設け、各学校の学校経営の状況把握、情報交換と情報共有に努めた。

入学式、卒業式、学校公開研究会、各種行事に出席し、学校の状況把握、情報収集等を積極的に行った。

Ⅲ 【参考資料】

1 平成26年度 教育費内訳（決算） （単位：円）

項	目	平成26年度	平成25年度	平成24年度
1 教育総務費	1 教育委員会費	1,188,200	1,186,840	1,171,200
	2 事務局費	32,336,573	17,367,468	18,058,877
	3 教育振興費	4,879,058	4,871,992	4,852,109
	4 住宅管理費	812,433	6,351,004	348,909
	小計	39,216,264	29,777,304	24,431,095
2 小学校費	1 学校管理費	57,855,774	47,203,219	48,329,346
	2 教育振興費	6,182,108	5,506,979	4,956,673
	小計	64,037,882	52,710,198	53,286,019
3 中学校費	1 学校管理費	52,099,522	69,656,899	41,199,318
	2 教育振興費	3,925,166	6,777,220	1,801,855
	小計	56,024,688	76,434,119	43,001,173
4 幼稚園費	1 幼稚園管理費	296,177	100,215	110,460
	小計	296,177	100,215	110,460
5 社会教育費	1 社会教育総務費	13,887,843	13,448,182	12,735,688
	2 公民館費	9,401,815	12,431,633	10,824,724
	3 住民運動費	10,722,642	10,591,481	10,703,053
	小計	34,012,300	36,471,296	34,263,465
6 保健体育費	1 保健体育総務費	18,978,752	20,699,688	23,809,178
	2 体育施設費	27,257,874	22,967,170	53,226,905
	3 学校給食施設費	79,512,421	71,725,856	81,680,632
	小計	125,749,047	115,392,714	158,716,715
合	計	319,336,358	310,885,846	313,808,927

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 (1) 学校教育行政の主要施策
① 推進体制の充実 校長会議

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

月例校長会議を充実させることで円滑な学校運営をはかるとともに、村内小中学校が一体となった教育推進を図ることを目的する。

■実施状況

毎月一回定期的開催し、主に次のような内容で行った。

- ・教育長指示伝達・・・学力向上、生徒指導の充実、生涯学習の充実、教職員の服務生涯学習の充実と学校教育との関連
- ・主な協議内容

開催月	教育長指示伝達	協議
4月	学力向上、生徒指導、生涯学習、服務指導等々	児童生徒の状況
5月	〃	児童生徒の状況
6月	〃	いじめ早期発見・予防対策
7月	〃	学びフェスト進捗状況
8月	〃	児童生徒の状況
9月	〃	伊保内高校長 講話
10月	〃	多忙化対策
11月	〃	復興教育の充実策
12月	〃	学びフェストの進捗状況
1月	〃	キャリア教育の充実策
2月	〃	学力向上対策の状況と課題
3月	〃	「学びフェスト」来年度構想

■成果と課題

- ・今年度より、各校長には、学校の取組状況をA4版一枚程度にまとめ、資料提供を求めた。そのため、協議内容が深まり、各学校の学校経営に資することができた。
- ・児童生徒の状況を話題にすることにより、学校不適応対策や小学校間や小中学校間の生徒指導等の課題が明らかになってきた。
- ・教育委員会から一方的な指示伝達から、校長会議をとおし、学校からの願いや要望に応える姿勢で、一体となって九戸村の学校教育の充実に努めていきたい。

【学識経験者の意見等】

- ・教育委員会の良き指示指導により、教育活動が推進されている。
- ・各学校の取り組み内容は、分からないが、報告によって各学校間で共通課題について話し合うことは非常に良い。教育委員会と学校との課題の共有が大切。
- ・学校不適応対策等、小中学校間の情報が共有され、保健師、民生委員等との協力、先生、学校の負担を少しでも軽減して対策を取れるような体制であってほしい。ますます多忙を極めているものと察する。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 (1) 学校教育行政の主要施策
② 推進体制の充実 教員研修の充実

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

村内児童生徒の実態を的確に把握し、その実態に即した教職員の指導力の向上を図り、児童生徒一人一人に確かな学力を定着させる。

■実施状況

	実施期日	研修会名	研修内容
1	5 / 16	特別支援員等研修会	特別支援員の児童生徒理解
2	9 / 25	授業改善研修会	九戸村授業改善案による授業公開と研究協議
3	10 / 7	学校公開研究会	小学校キャリア教育の充実
4	11 / 28	小中関連研修会	生徒指導・教科指導の連携
5	1 / 27	幼保小連携研修会	スタート・アプローチカリキュラムの円滑な接続
6	2 / 27	教務主任研修会	目標達成型の学校経営と教育課程の充実

■成果と課題

- ・幼保小中と長期的な計画により、児童生徒の健全な育成を図る研修会となった。今後は、発達障害を含め、幼児教育と義務教育が子どもの課題を共通理解し、指導に当たる体制を確立していく必要がある。
- ・九戸村授業改善の柱により、各学校が授業実践を積み重ねている。年一回、村内全ての教職員が授業改善の在り方を協議することは大変効果がある。
- ・国、県の研修会と関連させた研修会の充実を図り、教職員の多忙感を払拭したい。

【学識経験者の意見等】

- ・研修をすればするほど、自信を持って活動できる。指導力いっぱい教師の育成を。
- ・先生方の研修は当然大事なことだが、先生方が研修を受けること自体が、すごく重荷になっているのではないかと思う。教育委員会の職員も一杯一杯なんだろうけど、先生方も一杯一杯ではないのだろうか。
- ・教職員の指導力に期待するところが大きい。研修の場、スキルアップの場を設けることも重要。研修を受ける職員の気持ちが大事、受けなさいと言われて受けるのと、受けたいと思って受けるのでは違ってくる。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 (1) 学校教育行政の主要施策
③学校教育の充実 学習指導の充実

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

全国学力・学習調査等の結果を生かし、授業改善により、基礎基本の確かな定着とともに、家庭地域と連携し、児童生徒が授業と家庭学習に意欲的に取り組む態度を育成する。

■実施状況

1 学力向上対策に関する会議等の実施

	期 日	会議名等	主 な 内 容
1	5 / 28	学力向上対策会議	26年度計画・情報交換
2	7 / 2	学力向上視察研修	秋田県大館市内小中学校視察
3	8 / 26	学力向上ヒヤリング	村内小中副校長との面談
4	9 / 25	小中授業改善研修会	長興寺小・理科授業公開
5	10 / 7	学校公開研究会	江刺家小・キャリア教育
6	10 / 22	学力向上推進委員会	全国・県学調分析・活用
7	11 / 18	学力向上推進協議会	県指定「学力向上策」検討
8	2 / 18	学力向上推進委員会	講演会「小中共通取組内容」

2 小中高学力向上推進事業 指定区分 岩手県教育委員会

(1) 研究指定趣旨

全国学力・学習状況調査、県学習定着度状況調査や基礎学力確認調査等において明らかになった課題について、村教委及び伊保内高等学校の連携・協力の下、学習内容の確実な習得や知識・技能を活用する授業の展開に向けた工夫改善、学習意欲の伸長、学習習慣の定着等に関する実践を推進し、確かな学力の育成を図るための小中高連携を支援する。また、学力向上に関しては、小中高のスムーズな接続に課題があり、モデル地域を支援することにより、その成果の普及を図る。

(2) 研究推進

学力向上推進協議会設置 (教育委員会規則設置要綱策定)

構成員 県教委指導主事 九戸村教育推進協議会長 九戸村PTA連合会会長
伊保内高等学校長 村内小中学校長

事務局 九戸村教育委員会

(3) 研究内容

- ・学力向上推進委員会を軸に、九戸村授業改善プラン、授業改善のポイント作成。

ポイント1 主体的な思考・判断する学習過程に	ポイント2 主体的な話し合いや交流を
ポイント3 課題意識を大切に	ポイント4 学びの足跡になる板書を

(4) 小中高共通取組

- ① 授業改善 ② 視写・聴写 ③ 家庭学習

■成果と課題

- ・九戸村授業改善プランの四つのポイントは、小中全ての学校で共通的に取り組んでいるが、取り組む中身を具体的にし、小小、小中高の連携を深めていきたい。
- ・学力向上推進協議会を設置し、家庭、地域が一体となり学力向上を図る体制を確立した。今後は、学力向上の必要性の理解を図るよう啓蒙・啓発活動を進めていきたい。

【学識経験者の意見等】

- ・これで良いということはない。積極的に継続推進してほしい。
- ・学力向上対策会議が多く開催されて良いと思いますが、新聞等でも報道されているように、国・県に比べて学力が低い、何か課題があるような気がするが、何が原因で学力が低いのか検討すべきである。
- ・学力向上について、学校ごとに、様々な取り組みを展開していると思う。共通取り組みの家庭学習が最大の課題かと思われる。スポ少活動や家庭学習のあり方等について、さらに啓蒙、啓発活動が必要だと思う。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 (1) 学校教育行政の主要施策
④ 学校教育の充実 生徒指導の充実

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

いじめ、学校不適応等への未然防止やその対策のために、今までの組織を生かした「いじめ問題への対応のための組織」づくりを進め、児童生徒一人一人が楽しく、生き生きとした学校生活をおくることができるようにする。

■実施状況

(1) いじめ問題対策

いじめの未然防止、早期発見、早期対応のため、「九戸村いじめ防止等のための基本的な方針」を策定した。主な内容は、次のとおりである。

いじめの定義

いじめとは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。

いじめ防止等のための対策

- ・ 道徳教育及び体験活動の充実
- ・ 情報モラル教育の推進
- ・ いじめ早期発見の実態調査
- ・ 特別支援教育の推進
- ・ 教員研修の充実
- ・ いじめ問題対策連絡協議会の設置

予定している構成員

- ・ 村内小中学校長
- ・ 警察関係者
- ・ 九戸村民生児童委員協議会長
- ・ 心理士等専門職員

重大事態への対応など

- ・ 重大事態の報告 → 村長
- ・ 事実関係を明確にする調査（学校主体か教委主体かは、十分検討し決定） → いじめ行為、学校、教職員の対応、可能な限り網羅的に調査、客観的な事実を速やかに対応 → 心のケアなど、必要な措置・・・・・・・・

(2) 学校不適応対策

- ・学校不適応対策のため、中学校に学校生活への適応が困難な生徒の相談・支援を行うため、相談員1名を配置した。また、県教委からスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの派遣を頂き、組織的に対応した。

■成果と課題

- ・本村のいじめ防止基本方針が各学校で作成した同方針と連動するよう作成した。今後は、いじめ防止基本方針により、情報交換を密にし、いじめ撲滅を目指す。
- ・学校不適応対策は、福祉関係、カウンセラー等専門家を入れ、組織的な対応の結果、不登校児童生徒の解消につながってきている。今後は、家庭との協力を得ながら、児童生徒の自立・自律心を育てていきたい。

【学識経験者の意見等】

- ・いじめ、学校不適応は解決しても現実には又、起こりえる。育てていくしかない。色々話を聞くと相談員などすごくバックアップしてもらっているように思います。続けてほしい。いじめ等がないからと安心してるとまた起きることがある。
- ・いじめ防止については、学校も教育委員会も頑張っていて、いろいろの取り組みがされていて良いと思うが、最近の報道でも、気付くのが遅れて後手、後手の感が強い。とにかく早く気付くことで初期の対策が出来ると思う。学校と教育委員会が早期に問題を共有し、対策をしていかなくてはならないと思う。
- ・担任が、児童生徒一人一人を観察し、その対応にあたることは、時間的にも、大変なことだと思う。学校であれば学校という組織で対応して、学校の方で対応しきれないときは教育委員会あるいは地域の方々を含めて対応してほしい。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 (1) 学校教育行政の主要施策
⑤ 学校教育の充実 連携教育の充実

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

ナインズプランによる協働学習を通じて、小規模校同士の連携を深め、学校間の交流を深め、教科等の学習を深める。また、幼小、小中学校間の円滑な接続を図るために、授業公開と情報交換を行う。

■実施状況

・ナインズプラン

村内小学校4年生を対象に、音楽の合同授業を年三回実施した。小規模校では十分な内容とすることのできない合奏・合唱を取り上げ実施した。その様子は、村民に公開した。

・幼保小連携研修会 27. 1. 27実施

戸田小保育所から、保育の様子を公開してもらい、その後、幼稚園・保育園、小学校低学年担当者と情報交換を行い、スタートカリキュラムの在り方を協議した。

・小中関連研修会 26. 11. 28実施

中学校授業公開後、小中の円滑な生徒指導がなされるよう情報交換を行った。

■成果と課題

- ・小規模学級の短所を補うナインズプラン学習は、教科の学習内容を深め、子供たちの学習意欲を喚起する。実施学年、実施教科を拡大していきたい。
- ・幼保・小、小中関連研修により、子どもたちの様子を知ることができる有効な研修会である。今後は、子どもたちの学習・生活を幼小中と長期的な計画により指導していきたい。特に、個別に指導する必要がある子供の支援計画を作成し指導に当たる。

【学識経験者の意見等】

- ・ 合同学習授業で得るものは計り知れないものがある。各学校の学年で見れば人数が少ないが、合わせれば1つの学校でできなかったスポーツなどに取り組むこともできる。
- ・ 九戸村は小規模校なので、交流、いろんな形での連携がはかれることは素晴らしい。合奏、合唱以外でも広げられればいいと思う。去年全校集めて九戸のいいところ見つけるというのをやったが、こういうのは続けていったほうがいいと思う。
- ・ 小規模校対策の工夫が感じられる。個別に指導する必要がある子どもの支援計画を作成し、ライフステージに合わせた指導はとても大事だと思う。本人が社会に出た後も支援にあたる人が知りたい情報が、この支援計画に網羅されている。続けて欲しい。いければいいと思う。あくまでも、保護者から同意を得たものであること。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 (1) 学校教育行政の主要施策
⑥ 学校教育の充実 キャリア教育の充実

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

キャリア教育推進協議会の全面的な支援の下、職場体験学習を実施する。
また、小中連携の視点を大切にした各学校のキャリア教育全体に基づき、子どもたちの将来、社会の中で主体的に生き抜く力を育む。

■実施状況

- ・平成26年度版キャリア教育体験学習受け入れ先事業リスト作成（28箇所）
 - ・キャリア教育アドバイザー（23人）
 - ・4日間、九戸中学校2年生による職場体験学習を実施。7/8 ～ 7/11
 - ・受けて入れ事業者は（20箇所）
- ・江刺家小学校ではキャリア教育を研究主題として研究し、その成果を学校公開研究会により発表した。二戸管内から100人を超える参観者となった。

■成果と課題

- ・村内事業者の全面的な協力により職場体験学習を実施することができ、生徒は、職業人・社会人として必要なコミュニケーション能力の必要性を強く感じていた。
- ・小中の発達段階に応じたキャリア教育をより一層充実させるには、夢と志を育む教育を計画的に実施したい。

【学識経験者の意見等】

- ・社会に出て働くということ、自覚できる機会になっていると思う。
- ・職場体験学習によって、いろんな仕事があることを実感することは大変良いと思う。2箇所の体験場所で一緒になったが、笑顔で仕事をしていたし、客との対応でも真剣さが出ていたのが印象的だった。
- ・将来を担う子どもたちを地域で育てるというのがキャリア教育の目的だと思う。その認識のもと、村内の事業者の皆さんの協力には、敬意を表す。家族や周囲もこの意義をもっと理解し、協力支援にあたってほしい。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 (1) 学校教育行政の主要施策

⑦ 学校教育の充実 時代に対応する教育の充実

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

外国語指導助手及び外国語活動補助員の活用により、中学校英語教育充実を図るとともに、小学校外国語活動や国際理解教育の振興を図る。

■実施状況

・九戸中学校に、外国語指導助手を通年派遣し、英語教科指導の充実を図った。また、各種の教育活動にも積極的に参加し、国際理解教育の推進を図った。村内小学校にも必要に応じて派遣し、中学校同様、国際理解教育を推進した。

・村内小学校に、外国語活動補助員を派遣し、英語に親しむ活動や国際理解教育を推進した。

派遣日数	伊保内小	35日	長興寺小	33日	戸田小	36日
	山根小	32日	江刺家小	38日		

■成果と課題

・中学校英語教師と外国語指導助手とのTT指導により、リスニング能力とプロナンス能力高めることができている。今後は、英語への関心を高めると同時に総合的な英語力を高めていきたい。

・意欲的に外語活動に親しむ態度が養われつつある。中学校の英語活動との関連を考慮した指導法の改善を図っていきたい。

【学識経験者の意見等】

- ・英語にふれる機会の提供が大切。習うより慣れろ。
- ・村内小学校において、今後とも英語を好きになる。嫌いにならないように配慮して進めてほしい。英語に初めて関わる時に文法などで嫌いになってしまうので、その部分に気を使ってやってもらっているみたいなので、そのまま続けていってほしい。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 (1) 学校教育行政の主要施策
⑧ 特別支援教育の充実 就学支援の充実

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

就学支援委員会を開催し、教育上特別な配慮や支援を要する児童生徒に対して的確効果的な教育を推進する。

■実施状況

- ・就学支援委員会を年三回実施した。
第一回目 6月 9日 昨年度の業務報告、今年度の計画
第二回目 9月 7日 対象児童生徒の状況確認、個別検査の有無検討
第三回目 11月 10日 最終判定
就学支援委員会前に、校内就学支援委員会や個別検査等を実施、児童生徒の生涯に応じた望ましい教育環境の在り方を検討し、丁寧な就学指導を進めた。
- ・要観察で普通学級在籍児童生徒のために、特別支援員4名を配置し、個別指導の充実を図った。
- ・特別支援員配置校 伊保内小1名 長興寺小1名 江刺家小 2名

■成果と課題

- ・児童生徒の障がいに応じた適切な教育環境を整えるよう、幼・保・小中での情報交換をもとに、長期的な計画を策定し指導していきたい。
- ・特別支援学級適の児童生徒で、普通学級に在籍する就学指導は、福祉関係、家庭との十分な連携、理解により進めていきたい。

【学識経験者の意見等】

- ・特別支援員を配置された学校ではメリットが大きい。対象学校、又担任の負担が大きいと思うので、その軽減をしてあげなければいけないと思う。
- ・先生方は一生懸命なんだけれど親が理解してくれないことが多い。親が理解してくれば手立てはある。
- ・家庭との関係を大事にしつつ、保護者の理解を求め、支援学校等との協力、将来に向けて、関係機関との連携をとって、充実を図ってほしい。専門の先生への相談であったり、病院といえは保護者が納得しない例が多い。この子が将来、自立できるようにするにはどうしたらいいか考えていただければと思います。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 (1) 学校教育行政の主要施策
 ⑨ 学校保健・安全教育の充実 学校給食の充実

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

安全で栄養豊かな給食を提供するために、学校給食をセンターの適正な管理に努め、児童生徒の正しい食事習慣の確立と発達段階に応じた栄養の摂取についての指導の充実を図る。

■実施状況

- 1 学校給食施設の管理運営
 一般財団法人九戸教育施設運営会に委託し、管理運営にあたった。
- 2 学校給食の実施

区 分	給食日数	延食数	給食単価	実施対象人数
小学校	184 日	61,788 食	239 円	児童・教職員 334 人
中学校	189 日	31,870 食	277 円	生徒・教職員 171 人
伊保内高等学校	138 日	18,630 食	230 円	生徒・教職員 139 人
給食センター	203 日	2,060 食	277 円	給食センター職員 10 人
計	給食日数 203 日	114,348 食		米飯給食 週 4 回 パン給食 週 1 回

- 3 地産地消推進の取り組み
 九戸村農業者学校給食応援隊や（株）ふるさと振興公社の協力により、当村産米及び野菜を学校給食に取り入れた。
- 4 放射性濃度測定の実施
 - (1) 調理前の野菜 40回（週1回測定）
 - (2) 農林建設かより依頼 山菜・きのこ等3品
- 5 備品・機器等の更新
 自動手指洗浄消毒器更新 業務用冷凍庫更新

■成果と課題

- ・施設の衛生管理に十分に配慮し、安全点検や感染予防策に努めるとともに、食材サンプル放射能測定を実施し、安全・安心な給食を提供した。
- ・給食センターの備品・器具の計画的な整備、更新をしていきたい。

【学識経験者の意見等】

- ・安全・安心な食材。評価する。どこから来たのか分からないような偽装された食材を使っていないので良いと思う
- ・地産地消の産物を給食に使用することは良い事。食の大切さと村の生産物を食べていることを子供に知ってもらうことによって、食の大切さなどが生まれると思う。
- ・安心、安全の為に地産地消の取り組みと機材の整備を計画的にやってもらいたい。異物の混入とかも出てきてしまうと思うので、手間がかかるかもしれませんが、使用前の点検と使用後の点検を大切にしたい。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 (1) 学校教育行政の主要施策
 ⑩ 学校保健・安全教育の充実 健康教育の充実

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

各種検診や健康相談等による健康教育を充実させることで、児童生徒の心身の健康保持及び健康増進を図る。

■実施状況

1 児童生徒の健診状況

検診区分	対 象	幼稚園 (人)	小学校 (人)	中学校 (人)	計 (人)
定期健診 (内科、耳鼻科、眼科)	児童、生徒、 幼児	5 (内科のみ)	837	447	1,289
歯科検診	児童、生徒、 幼児	5	279	149	433
心臓検診	小1年・4年、 中1年		90	54	144
貧血検査	小5年、6年、 中2・3年		94	90	184
尿検査	児童、生徒		279	150	429
寄生虫卵検査	児童、生徒、 幼児		131		131
脊柱側弯検査	小5年、6年、 中1年		98	58	156
生活習慣病検診	中1			52	52
就学時健診	就学時児童			41	41

■成果と課題

- ・三医師会、九戸村学校保健会との連携により、定期的な健康診断と各学校とも充実した内容による健康教育が推進されている。今後は、家庭との密接な協力のもと、生活習慣病に力を入れていきたい。

【学識経験者の意見等】

- ・継続推進を。
- ・医師会と学校保健会との連携に、家庭の連携が加われば最高だと思う。三者が一緒になってやってほしい。
- ・共働きや一人親世帯が増加する傾向にある中、食事面、健康管理が行き届かない部分があるのではないかと思います。それぞれの家庭との協力が不可欠だと思います。学校の養護教諭や給食センターの栄養士と連携を取りながら進めた方がいい。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】	(1) 学校教育行政の主要施策 ⑪ 高校教育の支援 高校教育の振興
【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】	<p>■事業の概要</p> <p>伊保内高等学校の教育振興のため魅力ある学校経営を支援するとともに、身近な地域の地元高校で学べる環境整備作りを支援する。また、各種研修補助、通学費補助、村の体育施設の無償開放を継続する。</p> <p>■実施状況</p> <p>1 各種会議に参加し、中高連携の意義や伊保内高等学校の魅力を伝え、地元高校への進学意識を醸成した。</p> <p style="margin-left: 20px;">2 6. 5. 2 6 九戸村中高教育連絡協議会（春季）出席 教職員対象</p> <p style="margin-left: 20px;">2 6. 7. 7 中学生高校一日体験入学出席 中学校3年生、保護者、教職員対象</p> <p style="margin-left: 20px;">2 6. 1 1. 8 進路事務説明会 中学校3年生、保護者対象</p> <p style="margin-left: 20px;">2 6. 1 1. 1 8 九戸村中高教育連絡協議会（秋季）出席 教職員対象</p> <p>2 伊保内高等学校教育振興会と連携し、高校の魅力創りを支援し、関係機関に地元高校存続を要望したり、生徒の進学意識を醸成したりした。</p> <p style="margin-left: 20px;">2 6. 8. 5 伊保内高等学校教育振興会総会</p> <p style="margin-left: 20px;">2 6. 1 1. 1 4 伊保内高等学校教育振興会役員会</p> <p style="margin-left: 20px;">2 6. 1 1. 2 2 伊保内高等学校入学のお願い、文書配布 戸別訪問</p> <p style="margin-left: 20px;">2 6. 1 2. 4 伊保内高等学校教育振興会役員会</p> <p style="margin-left: 20px;">2 7. 3. 1 0 進路意識調査実施</p> <p style="margin-left: 20px;">2 6. 7. 3 0 伊保内高等学校存続市町村要望</p> <p style="margin-left: 20px;">2 6. 8. 2 6 伊保内高等学校存続要望 関係団体</p> <p style="margin-left: 20px;">2 6. 9. 4 //</p> <p>3 就職、進学指導充実費対応補助、研修補助、通学補助 2 5 0 万円 ナインズ球場、体育館等無料開放</p> <p>■成果と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携により、伊保内高等学校の魅力創り支援を積極的推進することができ、生徒、保護者、地域住民の地元高校への理解が深まった。 ・生徒の進路希望と地元高校への進学が、必ずしも一致せず、二学級定員を大きく下回る結果となった。生徒の進路希望は尊重することはもちろんであるが、地元高校への進学意識が高まるよう学校間の連携、関係機関団体との協力を一層深めていきたい。
【学識経験者の意見等】	<ul style="list-style-type: none"> ・高校が地元にあるから入学できる生徒が多くいると思う。地元高校への理解を深めたい。 ・伊保内高校の全てとはいかないと思うが、支援してほしい。伊保内高校はすごく頑張っている、活躍はすごい。高校の再編があることから伊保内高校に支援をしたほうが良。折角神楽など珍しい活動があるので、その活動を内外に広めてもらいたい。 ・魅力ある学校づくりに懸命に頑張っている様子が伺われる。そのことが、小・中学生やその親御さんに十分理解されているか。村民の皆さんに分かって貰えているのか。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 (1) 学校教育行政の主要施策
⑫ 就学奨励費

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

心身や経済的な理由により就学困難な児童生徒に対し、小中学校での就学に必要な支援を行う。

■実施状況

要保護・準要保護就学援助費 (小学校) ・学用品費 ・通学用品費 ・校外活動費・修学旅行費 ・学校給食費・医療費 ・新入学児童学用品費 ・体育実技用具費 ・児童会費 ・PTA会費	のべ 123人	1,580,046円
要保護・準要保護就学援助費 (中学校) ・学用品費 ・通学用品費 ・校外活動費・修学旅行費 ・学校給食費 ・新入学生徒学用品費 ・クラブ活動費 ・生徒会費 ・PTA会費	のべ 96人	1,759,538円

■成果と課題

- ・年々増加傾向にあるが、児童生徒の学習、クラブ活動等が円滑に行われ、学校生活が充実するよう配慮している。今後も予算の増額が予想されるが、経済的な理由により、学習に支障をきたすことのないように、当該生徒の保護者と十分連絡を取りながら事務手続きを進めていきたい。

【学識経験者の意見等】

- ・実態把握→推進。
- ・学習に支障をきたすことのないように、助成措置をとっている。
- ・経済的理由により、十分な教育を受けられないというは、最も避けなければならない。反面、親の必死に頑張る姿を見せてほしいと思う。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 (1) 学校教育行政の主要施策
 ⑬ 教育環境の整備 施設設備の充実

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

学校教育関係施設・設備の整備充実と管理の適正化に努め、学校教育の充実を図る。また、時代に対応する教育の充実と教職員の子どもと向き合う時間を確保するために、コンピュータの整備充実を図る。

■実施状況

1	小学校一施設設備・備品関係	
	・伊保内小学校 FF ストーブ修理	39,960円
	・伊保内小学校体育館スイッチ・安定器交換	61,200円
	・伊保内小学校校地内通路補修工事	723,600円
	・伊保内小学校給油コック取替え	45,360円
	・伊保内小学校玄関階段部分修繕	57,800円
	・長興寺小学校 FF 式ストーブ修理	104,868円
	・長興寺小学校高圧気中開閉器交換工事	523,908円
	・長興寺小学校プール給水バルブ交換	78,192円
	・江刺家小学校体育館更衣室屋根修繕工事	2,012,040円
	・江刺家小学校浄化槽修繕	83,592円
	・江刺家小学校浄化槽原水ポンプフロートスイッチ交換	30,780円
	・江刺家小学校 FF 式暖房機取替え	50,760円
	・その他、プールろ過機、消防設備、外灯設備等修繕	252,455円
	・一般備品（テーブル、移動式展示板、児童用机・イス）	722,628円
	・図書備品	1,253,034円
2	中学校1 一般設備・備品関係	
	・給水管敷設替工事	9,388,440円
	・プール排水溝修繕工事	702,000円
	・1・2階水抜弁修繕工事	270,000円
	・その他、プール更衣室天井張替、非難口誘導修繕等	333,594円
	・一般備品（加湿器、衝立等）	208,072円
	・図書備品	
3	中学校2 教育用パソコン校務処理用	2,630,880円

■成果と課題

・安心・安全な学校生活を送ることを第一に、緊急に必要な修繕箇所、暖房器具等備品の修理、部品の取替を行った。一般備品、図書購入等は、子どもたちの学習環境整備のために、必要な予算を確保するよう努めた。各学校の設備は、ほぼ同年代に購入・設置されたものが多く、修繕・取替の時期が重なっている状況である。子どもたちの安全面を最優先としながら、短期・長期的な計画により、施設設備の充実を図っていきたい。

【学識経験者の意見等】

- ・学習活動に支障が出ないように支援してほしい。
- ・施設整備の充実が見られる。早期の点検等により施設設備の維持継続を。
- ・学校の施設整備ですが、遊具を含め点検や事故防止への注意喚起を徹底していただきたい。近頃は、大雨、強風、大雪、地震もありますので耐震構造になっているもののあちこち不具合が出てきていると思われるので、経費がかかるが施設の調査、専門家の目も必要である。そういった部分は庁内全体で整備点検計画を検討してほしい。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 (2) 社会教育行政の主要施策
 ① 生涯にわたる社会教育活動の充実 推進体制の確立

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

村民が地域の生活の中で自己の充実や生活の向上のため、自らが選択した学習課題を自己に適した手段・方法で生涯を通じて学び続けるという生涯学習の推進を図るため、推進体制を整備しながら多様な学習情報・学習機会を提供する。

■実施状況

1 指導体制の整備

1 推進体制の整備

(1) 審議会及び推進組織状況

生涯学習推進組織名	員数	会議の開催等	備考
生涯学習推進協議会	13	5月19日・12月9日	社会教育委員兼務
社会教育委員会	13	5月19日・12月9日	
青少年指導員	7	5月12日	年間活動
青少年問題協議会	15	5月19日・12月9日	
文化財調査委員	5	5月8日・7月8日	

(2) 主な事業活動

事業名	事業の概要	期日等	参加対象等
生涯学習だよりの掲載	広報くのへに毎月「生涯学習だより」を掲載した。	年間	村民
生涯学習・保健ガイドの発行	生涯学習関連行事、講座案内等のほか村内各機関・団体の行事予定をまとめた「生涯学習・保健ガイド」を全世帯、事業所等に配布した。	年4回	村民 関係機関 団体

■成果と課題

- ・各種会議の協議内容を関連させるように配慮したため、青少年問題対策は連動した内容により協議を深めることができた。
- ・全世帯に配布した「生涯学習・保健ガイド」により、村民への生涯学習への関心を深めることと各種講座に参画・参加する資料となっている。
- ・各種会議では、毎年度繰り返す内容と生涯学習の環境整備や村民のニーズに応じた内容となるよう工夫していきたい。

【学識経験者の意見等】

- ・評価する。毎年度、繰り返す内容と言っても、対象者が入れ代わるものがあり、推進せざるを得ない。
- ・生涯学習、保健ガイドの全戸配布は大変よい。これによって学習や活動の参加者が増えていけばいいと思う。
- ・一人でも多くの村民が「学ぶ」あるいは「生きがい」を意識することが出来るよう情報を提供してほしい。生涯学習・保健ガイドの発行は続けてほしい。広報にも実際に行った講座だっなどの意見等を載せていただければと思う。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】(2) 社会教育行政の主要施策

② 生涯にわたる社会教育活動の充実 指導体制の確立 教育振興運動

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

全小学校、中学校、伊保内高等学校、幼保施設における教育振興運動を助長しながら、子供、教師、保護者、地域社会、教育行政5者が一体となった体制作りをすすめ、児童生徒の健全な成長を促す。

■実施状況

- ・ 26. 6. 6 平成26年度総会 事業報告と事業計画
- ・ 26. 6. 4 事務局会議 総会提出議案検討
- ・ 26. 12. 5 事務局会議 集約集会内容検討
- ・ 27. 1. 23 事務局会議 集約集会運営協議
- ・ 27. 1. 16 岩手県教育振興運動50周年記念大会において、伊保内高等学校から「世代を超えて語り継ぐもの～九戸村地域子ども会」と題して、発表する。

■実践発表

- ・ ひめほたるこども園実践区
「手をつなごう ひめほたるっ子 ～ひめほたるこども園3年の歩み～」
- ・ 伊保内小学校実践区
「地域とともに 子供の活動を支えて」
- ・ 特別発表 岩手県立伊保内高等学校

■講演会

- ・ 講師 県立伊保内高等学校長 岩淵 信義氏
- ・ 演題 「何故勉強するのか。」

- ・ 27. 1. 25 九戸村教育振興運動集約集会

■成果と課題

- ・ 岩手県教育振興運動50周年記念大会では、上記内容で伊保内高等学校2名の生徒が、堂々と発表し、当日の助言者から二人の生徒の姿が、岩手県教育振興運動の成果であると、高い評価をいただいた。
- ・ 本村の重点課題である「家庭学習の充実」を一層進化させるために、「勉強力とは何か」と題して、今後求められる学力観について、学習を深めることができた。今後は、子どもたちの基本的な生活習慣、学習習慣、健康習慣の育成に力を入れていきたい。

【学識経験者の意見等】

- ・ 評価する。学びつづけることが大事。これでよいということはないと思う。
- ・ 伊保内高校は様々な分野での活躍に素晴らしいものがある。これによって小・中学校への波及効果も期待大。教振の指導力が大きい。
- ・ 伊保内高校の生徒が発表するところを、会場で聞かせていただきとっても感動した。生活習慣・学習習慣・健康習慣の育成は他課との連携した取り組みを進めていただきたい。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】(2) 社会教育行政の主要施策

③ 生涯にわたる社会教育活動の充実 家庭教育の充実 家庭教育学級

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

幼児期から少年期における家庭教育は、他の時期において代えがたい大切な役割を持ち、この時期を通して基礎的習慣とともにものの考え方、価値観など人格の基本となるものが構築されることから大切な役割を担う。親として、学習する機会を設け、家庭教育に関する力量を大いに高め、子どもの健やかな成長につなげるため家庭教育学級を開設する。

■実施状況

家庭教育学級の円滑な事業推進のため、主事会議二回開催した。

- ・ 26. 6. 4 第一回九戸村家庭教育学級主事会議 実施状況と開設について
 - ・ 26. 12. 5 第二回九戸村家庭教育学級主事会議 実施状況と次年度事業について
- 各団体の家庭教育学級の主な実施内容は下記のとおりである。

- | | |
|----------------|-----------------------------|
| ・ 伊保内小学校家庭教育学級 | 図書講習会・心肺蘇生法講習会・郷土料理教室 |
| ・ 長興寺小学校家庭教育学級 | 防災講演会・親子ニュースポーツ・救命講習会 |
| ・ 戸田小学校家庭教育学級 | 校長講話・郷土料理教室 |
| ・ 山根小学校家庭教育学級 | 日本文化に触れる・郷土教室・校長講話 |
| ・ 江刺家小学校家庭教育学級 | 親子清掃・黒山の穴遺跡講習会・心肺蘇生法・郷土料理 |
| ・ 中学生を持つ親の学級 | 親子岩手登山・折爪荘親子奉仕作業・岩大演奏会親子鑑賞 |
| ・ 幼児を持つ親の学級 | ・ 講演会 「どの子もやさしく かしこく たくましく」 |

■成果と課題

- ・ 各家庭教育学級とも会員の必要性に応じた工夫された内容により事業を展開し、親同士のつながりや家庭での在り方等について研修を深めることができた。
- ・ 家庭教育学級の目的に照らし合わせ、事業内容を見直しながら、今日の教育課題について見聞を広げたり深めたりする内容を検討していきたい。

【学識経験者の意見等】

- ・ 児童や幼児と一緒に活動したり、児童や幼児の育て方を学んだりする機会だと思う。
- ・ 家庭教育の重要性を認識してもらうということは、永遠のテーマであり、親教育が先という感じがする。親が勉強しなければならない部分がある。すごく良い内容で勉強会を開いているのですが、人数が少なかったり学校の副校長先生方は大変苦労していると思われる。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】(2) 社会教育行政の主要施策

④ 各時期における社会教育活動の充実 青少年の健全育成 放課後子ども教室

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

放課後や週末に小学校などを活用し、地域の方々が指導者やボランティアとして参加して、子どもたちがスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動を行うため、放課後子ども教室を開設する。

■実施状況

1 開設教室・開設日数・利用人数等

開設教室名	開設日数	のべ利用人数	一日平均利用人数
つくし教室 (戸田小)	176日	のべ 2,066人	11.7人
ふれあい教室 (山根小)	179日	のべ 3,126人	17.5人
いちょう教室 (長興寺小)	180日	のべ 4,605人	25.6人
おりつめ教室 (江刺家小)	178日	のべ 4,702人	26.6人

2 開設時間

各教室とも午後2時30分から午後4時30分までの2時間

3 安全管理員の配置

各教室2名配置

4 安全管理員の研修の機会

安全管理員は、県立生涯学習センター主催の指導者合同研修会に出席。

5 参考 (住民生活課所管事業)

開設学童保育	開設日数	のべ利用人数	一日平均利用人数
(伊保内小)	287日	のべ 7,886人	27.5人

■成果と課題

- ・安全管理員が見守る中で、子どもたちは、スポーツや文化活動、地域との交流活動、授業の予習や復習など学習活動に取り組み、有意義な放課後の暮らしができています。
- ・関係機関と連携して「放課後子どもプランの策定」を進め、放課後の子供たちの居場所と豊かな体験活動が行われるよう検討していきたい。

【学識経験者の意見等】

- ・児童の安全が確保されることが大きい。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】(2) 社会教育行政の主要施策

- ⑤ 各時期における社会教育活動の充実 青少年の健全育成
九戸村学校支援地域本部事業

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

岩手県独自で進めている教育振興運動の共通目標「家庭学習の充実」「読書活動の推進」の積極的な推進を図るため、学習ボランティア、図書ボランティアを各学校に派遣し、学社連携
教育の充実を図る。

■実施状況

(1) 対応内容

- 家庭学習の充実 — 宿題の丸付けや一人勉強の課題作成、授業補助
読書活動の推進 — 本の並び替えや整頓・図書館管理運営補助、図書館整備

(2) 対応回数

- 家庭学習の充実 — 授業の補助 16回対応
読書活動の推進 — 図書館整備 85回対応
読み聞かせ 48回対応

■成果と課題

- ・各学校の要望を受け、授業補助、図書館整備、管理運営の補助を行った。村内小中学校の図書室の整備、管理運営の補助により、読書環境が整備された。
- ・人材確保に苦慮し、年度途中の事業となったが、学校からのニーズに応じた対応となり、効果がある事業となった。今後も、人材確保に苦慮されることが予想されるが、本事業を継続し行い、子どもたちに向き合う時間の確保など、学校教育活動を支援していきたい。

【学識経験者の意見等】

- ・児童にとって読書する習慣がついたら児童の一生の財産となる。
- ・先生方の負担を軽減することと地域との関わりが重要なことであるが、コーディネーターの養成が急務である。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】(2) 社会教育行政の主要施策

⑥ 各時期における社会教育活動の充実 青少年の健全育成 九戸村地域子ども読書会

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

高校生ボランティアによる「宮沢賢治の童話」や「九戸村の民話」の手作り紙芝居、読み聞かせなどを実施して、子どもたちの読書への関心を喚起するとともに、ボランティア活動の場及び異年齢間の交流の場とし、それぞれの社会性を育成する。

■実施状況

- (1) 実施期日 平成26年1月6日 ～ 1月7日
- (2) 高校生ボランティア 伊保内高等学校生徒 75名
- (3) 内容 宮沢賢治の作品を読み聞かせする。
- (4) 実施場所

実施場所	子ども会名	参加人数	伊高生徒数
妻の神集落センター	宇堂口・平内・妻の神	24	6
山根小学校	山根小全子ども会	27	7
荒谷桂藤会館	荒谷	24	6
川向公民館	川向	25	6
伊保内ふれあい会館	鹿島・二ツ家	17	6
まさざね館	伊保内上町・下町	12	6
南田コミュニティ	南田	20	6
小倉公民館	小倉	9	5
荒田集落センター	さくら・しらかば、竹の子	24	6
銀杏会館	ダイヤ・ジャンボ	19	5
江刺家ふるさとセンター	元村1・田代・柿の木	16	5
江刺家元村第2公民館	元村2・おりつめ・山屋	11	6
細屋ふれあいセンター	細屋	11	5
戸田老人福祉センター	戸田上・下、牛の馬場上・下	40	6
特別養護老人ホーム折爪荘			4
グループホームおりつめ			4

■成果と課題

- ・九戸村の特色ある教育的伝統行事として行われており、小中高の子供たちが「宮沢賢治の作品」を通して、読み聞かせの楽しさと伝統ある行事でつながっている意識を持っている。
- ・児童数・生徒数の減少にあった企画による内容を充実させたい。

【学識経験者の意見等】

- ・全国的に取り組みに対する評価も得ている。
- ・伊高の読み聞かせは、30数年続けており、内外とも注目の的になっているし、聞いた小・中の生徒に引き継がれている。このまま続けていってほしい。
- ・伝統行事として定着している読書会。今後とも本を通じての世代間交流、地域活動にして続けてほしい。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】(2) 社会教育行政の主要施策

⑦ 各時期における社会教育活動の充実 青少年の健全育成 戸のまち交流事業

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

生活体験や自然体験を通して、仲間づくりの方法や社会のルールを学ぶとともに、「戸の兄弟のまち」である六戸町と九戸村の子供たちがキャンプやスキーを通じて交流を深める。

■実施状況

1 「戸の兄弟のまち交流事業」夏季交流キャンプ (六戸町教委主催)

- (1) 実施期日 平成26年8月7日 ~ 8月8日
- (2) 実施場所 六戸町文化ホール
- (3) 参加者 九戸村6年生 47名 九戸村育成会役員 10名
六戸町3年生以上30名 中高生ボランティア 10名
- (4) 主な内容 ダンボールハウス作り (緊急時避難場所体験) 夕食づくり 肝試し等

2 「九戸村スキー交流会」(九戸村教委主催)

- (1) 実施期日 平成27年1月17日
- (2) 実施場所 九戸スキー場
- (3) 参加者 六戸町2年生以上・保護者 29名 関係職員 7名
九戸村1年生・保護者8名 関係職員 2名
- (4) 主な内容 スキー交流会 クイズ大会

■成果と課題

- ・ダンボールハウス作りは、東日本大震災津波で被害を受けた野田村を訪問した九戸村子ども会リーダー研修会での体験学習を生かした活動と連動させた。協力し、工夫しながら命を守り、身を寄せる居場所づくりは、子どもたちの危機管理意識を醸成した。
- ・平成6年から実施されている。「戸」の街に生きる子供たちの共通的・共感的な郷土愛づくりに貢献する事業として、今後も継続していきたい。

【学識経験者の意見等】

- ・スキー教室で得た体験が基で、もっとスキーを好きになるかも。
- ・戸の町交流は小学生を中心として長年続いており、他の町、それも県を越えての交流は郷土愛を育むきっかけになっていると思う。
- ・続けていってほしい。スキー交流における。九戸村の参加者が少ないのは残念に思う。中高生ボランティアの活用も検討されてはどうか。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 (2) 社会教育行政の主要施策

⑧ 各時期における社会教育活動の充実 女性教育 女性教室

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

身近な生活に役立つ学習を基本に、村内女性の交流を広げるとともにそれぞれの持つ個性や能力を生かし、自らの資質を向上させながら社会参加に向けた意識の醸成の場として各種事業を実施する。

■実施状況

1 開設講座等 登録者 42名

日 時	講座名	内 容	場 所	講 師	人数
5/9	プログラム開発委員会会議	プログラム検討	開発センター		12
5/20	合同開講式	講演会「うまい話に気をつけて」	HOZホール	二戸消費生活センター	29
6/12	ガーデニング教室	季節の花を使って寄せ植えを学ぼう	開発センター	ガーデニングストア 浪岡孝丞氏	11
7/17	平泉の世界遺産をめぐる(移動研修)	世界遺産に登録された平泉の歴史を学ぶ	平泉	教育委員会	9
9/8	合唱を通じた歌い方講座	カラオケでも人気者に。	HOZホール	九戸中教諭 坂本忠信氏	17
9/26	創作活動	自由な発想で楽しむ磁器上絵付け	開発センター	早狩 由美氏	9
9/29	防災・救命力UP講座	防災講話・心肺蘇生法とAEDの使い方	HOZホール	二戸消防署 九戸分署署員	31
10/18	歴史にふれながら村内散策	黒山の穴遺跡散策 特別企画「100年前の九戸村の地図を見てみよう」	HOZホール等	菊池 強一氏	11
10/31~	文化祭出展	創作した作品の出展	開発センター		9
12/19	創作活動	ステンドグラス作り	開発センター	ステンドグラス工房	12
1/14	料理教室	手軽に作れる家庭料理	開発センター	柳下アイ子氏	13
2/24	合同開講式	「九戸村のいいところ再発見」	HOZホール	政實くのへ FM	
				のべ参加人数	163

■成果と課題

- ・暮らしに生かす趣味や健康で生きがいある生活を送るための講座を開設し、生涯学習の認識を深め、学習意欲の向上を図ることができた。
- ・女性の立場から地域に存在する課題を取り上げるなど、日常生活の改善と村民の生活の在り方を見直す学習内容を設定していきたい。

【学識経験者の意見等】

- ・評価する。人数の多い、少ないにかかわらず、その講座、教室にかかわった人、参加した人の生きがいを得る場の提供。教室や講座がなければ参加できない。
- ・12の学習内容の中で、参加者が少ない講座もあるが、参加者が自分で学びたいものを選べばよいことであって制約なしの行事であり、大変良いと思う。
- ・学ぶ意欲と参加者どうしの交流の場、今後とも地域（村）のよさを見直すことも。男女共同参画の意識づけ全庁にわたる案件、「男女共同参画」を念頭においた事業の在り方を検討。女性が活躍する場面の設定、リーダーの育成が重要。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】(2) 社会教育行政の主要施策

⑨ 各時期における社会教育活動の充実 女性教育 婦人団体

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

少子高齢化、国際化、情報化そして住民意識の多様化などの社会環境が大きく変わる中で、女性一人一人の持つ能力を最大限に生かし社会に参画していくことが求められている。いま、女性の立場から現実の生活を改めて直視し、地域の問題を考え活力と笑顔あふれる村づくり実現のために、村内の女性団体が一堂に集まり学習し交流を深める。

■実施状況

1 参加団体

九戸村婦人団体連絡会 JA 新岩手九戸地域女性部
九戸村生活改善グループ連絡研究会 九戸村商工会女性部
九戸村交通安全母の会連合会 九戸村地域婦人団体協議会

2 実施内容

(1) 講演会 「健康と食事について」

講師 管理栄養士・野菜ソムリエ・健康

ユーモアを交えた味のあるためになる講話となり、即、それぞれの家庭で実践できる内容であった。参加者からも、満足度の高い講演となった。

(2) ステージ発表

各団体が舞踊などの出し物を発表・鑑賞する中で親睦を深める。

カラオケや舞踊など、各団体から日頃の練習と親睦の成果を発表しあい、暖かい交流会になる。

(3) 手作り交換市

会員が手作りの品を持ち寄り、交換市を通じて親睦を深める。

■成果と課題

- ・地域・家庭の問題を女性の立場から考え、明るく住みよい村づくりにつながる交流会となった。各団体の組織強化が課題である。

【学識経験者の意見等】

- ・評価する。生きがいの場の設定と場の提供。それから得る生きがい。
- ・以前から婦人の役割が叫ばれてきた中で、若い世代が育たない時期もあったように感じられたが、地域や団体によっては、最近若い参加者も見られるので活動の中味によっては増える可能性も高い。それを望む。
- ・それぞれの団体に若い人がなかなか入ってこないことを懸念している。どの団体もそれが課題である。魅力ある活動展開するなどの手立てをもっとしたほうが良いと思う。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 (2) 社会教育行政の主要施策

⑩ 各時期における社会教育活動の充実 高齢者教育 生涯学習アカデミー

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

生涯を通じて学ぶことへの意欲に応え、高齢者が楽しみながら学習を続け、自らの生活を豊かなものにする。また、高齢者の自主的な活動を支援するとともに、これまで積み重ねてきた知識と経験を生かし、指導者としての活動の場を設けることにつなげる。

■実施状況

1 開設講座等 登録者 42名

日 時	講座名	内 容	場 所	講 師	人数
5/9	プログラム開発委員会議	プログラム検討	開発センター		10
5/20	合同開講式	講演会「うまい話に気をつけて」	HOZホール	二戸消費生活セ	43
6/30	健康講話と温泉(移動研修)	健康講話を聞いて、温泉でリフレッシュ	つなぎ温泉 愛心館	県社会福祉協議会 菅原 進氏	16
7/2	スポーツレク 健康教室	巷で噂の有酸素運動 身体を動かしてストレス発散	体育センタ	スポーツ振興事業団	23
8/21	異文化交流	スコットランドって、どこ? 外国の文化に触れてみよう	公民館	グレアムマッケンジー 夫妻	20
9/18	創作活動	地球温暖化講話・牛乳パックを使った小物づくり	開発センタ	環境アドバイザー 木村 廣子氏	22
10/16	歴史にふれながら 村内散策	黒山の穴遺跡散策 特別企画「100年前の九戸村の地図を見てみよう」	HOZホール等	菊池 強一氏	11
10/31~	文化祭出展	創作した作品の出展 (牛乳パックのペン立て)	開発センタ		22
12/12	創作活動	お正月用しめ飾り作り	開発センタ	秋田 恵子氏	10
1/27	スポーツレク 健康教室2	2回目の健康教室 なまった体を動かそう	開発センタ	スポーツ振興事業団	18
2/24	合同開講式	「九戸村のいいところ再発見」	HOZホール	政實くのへFM	
				のべ参加人数	187

■成果と課題

- ・暮らしに生かす趣味や健康で明るい生活を送るための講座を開設することにより、生涯学習の認識を深め、学習意欲の向上を図ることができた。
- ・楽しみながら学ぶことを基本に、高齢者の交流と学習機会の提供を図ることができた。
- ・これまで積み重ねてきた経験や生きる知恵を伝える世代間交流を取り入れた事業を展開していきたい。

【学識経験者の意見等】

- ・評価する。食べて、眠って運動しているだけでなく楽しみがないといけないと思う。
- ・九戸の人が九戸政實のことを知らなさ過ぎると思う。一部の人は知っているが、一般の人は無関心だと思う。黒山の昔穴遺跡の調査も進んで進んでいますし、折角歴史があるわけですからそれを学ぶ機会があっても良いと思う。
- ・学ぶ意欲、参加者同士の交流の場としても良い機会。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 (2) 社会教育行政の主要施策

⑪ 国際交流推進に向けた取り組みの充実 青少年海外派遣事業

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

- ・国際感覚を持った将来を担う人材を育成するため、九戸村人材育成事業補助金を活用し、中高生を短期間スコットランド・ドラー校に派遣する。また、ドラー校からの教員・生徒を迎え、相互交流を深め、村民の広い国際的視野と国際協調の精神を図る。更には、九戸村国際交流協会と連携し、英会話教室や外国文化触れる機会を作る。

■実施状況

1 青少年海外派遣事業

- | | | | | |
|----------|-------------------------------|---|--------|------|
| (1) 実施日 | 平成27年11月6日 | ～ | 11月19日 | 14日間 |
| (2) 派遣先 | スコットランド・ドラー学院 | | | |
| (3) 派遣生徒 | 中学生4名 高校生4名 | | | |
| (4) 派遣内容 | ホストファミリーとの生活 ドラー学院の授業参加 生徒交流等 | | | |
| (5) 派遣研修 | 事前研修 事後研修 結団式 報告会の開催 研究報告書作成 | | | |

2 ドラーアカデミー教員・生徒来村 交流会

- | | | | | |
|----------|---|---|--------|------|
| (1) 実施日 | 平成27年10月17日 | ～ | 10月27日 | 10日間 |
| (2) 来村者 | 統導者・教職員1名 ドラー学院生徒 3名 | | | |
| (3) 交流内容 | 村内小学校・九戸中学校・伊保内高等学校との交流
九戸村文化・歴史・史跡見学・交流
平泉世界遺産視察 十和田湖・奥入瀬自然散策研修等 | | | |

3 異文化体験イベント 国際交流協会主催

7月28日実施 ベトナム料理体験 参加者21名

4 子ども英会話事業 国際交流協会主催

12月26日～12月27日 2日間 小学生参加者 15名

5 基礎英会話事業 国際交流協会主催

全13回開催 8名受講者

■成果と課題

- ・ドラー学院からの訪問を受け、村民の国際的視野を広め、感覚を養う機会となると同時に、本事業で派遣された生徒との国際交流を一層推進することができた。今後は、派遣生徒同士のつながりや広がり、また、研修を生かす事業を展開していきたい。
- ・九戸村国際交流会事業は、青少年の国際理解教育を充実させると同時に、村民の国際感覚を磨くよい機会となっている。

【学識経験者の意見等】

- ・評価する。実際に現地に行ってみて得るものあり。生きる力のもとになりえる。
- ・青少年海外派遣事業は毎年実施され、参加者は国際感覚が磨かれて良いし、派遣された生徒と小学生との交流、一般の方との交流なども良いのではないかと思う。今まで派遣された人の交流会を開いても良いと思う。
- ・参加者の事後の活躍の場や機会、交流の場をつくってみてはどうか。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 (3) 文化行政の主要施策

① 文化の振興 鑑賞機会の提供

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

- ・優れた芸術や芸術作品に触れる芸術鑑賞の機会を設けると同時に、県内外の美術館・郷土芸能など、優れた芸術文化の鑑賞機会を提供する。

■実施状況

1 青少年劇場・岩手芸術祭小・中学校巡回美術展

(1) 青少年劇場

- ・実施日 平成26年6月4日
- ・対象者 村内小学生 274名
- ・内容 世界に誇る日本の音色のワヨウセイヨウ一尺八・琴・ギター・パーカッション

(2) 岩手芸術祭小・中学校芸術祭美術展

- ・実施日 平成27年1月13日～1月14日
- ・鑑賞者 98人

(3) 芸術プラットホーム事業

	期 日	内 容	場 所	参加者
1	9/15	三沢厚彦展・木梨憲武展鑑賞	県立美術館	小中高生・一般 31名
2	10/25	岩手県高等学校総合文化祭「郷土芸能発表会」鑑賞	北上・さくらホール	高校生・一般 22名
3	3/22	県書写書道作品展・プラネタリウム鑑賞体験	岩手県民会館 子ども科学館	幼児・小・一般 10名

■成果と課題

- ・芸術鑑賞の機会は、子どもたちの芸術文化への興味関心を高めるとともに、鑑賞能力の向上と感性を磨くよい機会となった・継続した事業としたい。
- ・プラットホーム事業は、村民の芸術鑑賞の機会を拡大し、芸術文化への関心をたかめ、村民の心豊かな生活につながっている。今後も継続し、魅力ある事業になるよう工夫していきたい。

【学識経験者の意見等】

- ・評価する。芸術文化に触れる機会の提供の場となっている。
- ・村外に行って研修をしているので、これからも続けてほしい。
- ・「生」の芸術に触れる機会が少ない村民にとって、とてもいい事業と思われる。参加者同士の交流もとてもいい雰囲気だと思う。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 (3) 文化行政の主要施策

② 文化の振興 発表機会の拡充

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

- ・伝統芸能を広く公開し、相互の交流を深めるとともに、技術の向上及び伝統芸能伝承活動の活性化を図る。また、本村の無形文化財指定「江刺家神楽」を伝承する県内外の神楽団体による発表・鑑賞機会を提供し、文化財愛護思想の高揚を図る。

■実施状況

1 九戸の山伏神楽祭典

(1) 期日・等場所 平成26年12月7日(日) 九戸村公民館 観客200名

(2) 発表団体

	出演団体名	演 目	市町村
1	江刺家神楽保存会	権現舞	九戸村
2	岡三沢神楽保存会	稲刈舞	三沢市
3	山内神楽保存会	権現舞・諷誦荒神舞	軽米町
4	おがみ神社法霊神楽保存会	権現舞	八戸市
5	葛巻神楽保存会	権現舞	葛巻町
6	伊保内高校郷土芸能委員会	注連切舞、舞下、剣舞等	九戸村
7	瀬月内神楽保存会	鶏舞	九戸村
8	九戸神楽保存会	注連切舞	九戸村

2 第41回 二戸地区郷土芸能発表会

(1) 期日・場所等 平成27年1月11日(日) 九戸村公民館 観客200名

(2) 発表団体

	出演団体名	演 目	市町村
1	金田一神楽保存会	七ツ物・盆舞	二戸市
2	太神楽保存会	太神楽	軽米町
3	根反鹿踊り保存会	根反鹿踊	一戸町
4	江刺家神楽保存会	権現舞	九戸村
5	九戸神楽保存会	注連切舞	九戸村
6	荒谷獅子踊保存会	庭入・ケンマス・大鹿等	九戸村

■成果と課題

- ・九戸村無形文化財「江刺家神楽」の流れを汲む団体の演技は、神楽を通して村の歴史を振り返り文化財の価値にふれる機会となり、改めて、保存意識が高まった。
- ・村内各種団体からの発表は、団体ごとに営々と継承されたものであり、村の文化・歴史を物語るものであった。今後とも、定期的に開催し、鑑賞の機会の保障と文化財の保護を図っていきたい。

【学識経験者の意見等】

- ・評価する。実際に見て感動。伝統芸能を見て初めてすごさ良さが気づかされる。
- ・九戸の誇り。無形文化財指定の江刺家神楽、その流れを汲む瀬月内神楽、伊高郷土芸能委員会等は、各方面で紹介され頑張っている。どこも若い世代に継承され、村の文化を内外に知らしめる大きなものとなっている。村の神楽を村民に提供しながら理解を深めて行く事が大切。伊保内小の剣舞は本家を引き継いでいる格好なので、応援しながら残していければ良い。
- ・剣舞(遠志内) えんぶり(妻の神)などの郷土芸能団体の存続が気になる。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 (3) 文化行政の主要施策
③ 文化財保護の充実 黒山の昔穴遺跡の保存・保護活動
国指定に向けた調査活動

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

- ・黒山の昔穴遺跡の国指定史跡に向けた調査活動を国庫補助事業で実施する。また、保存・保護活動の一環として、江刺家小学校の協力のもと、カタクリの植栽「私達の黒山の昔穴花いっぱい運動を」を実施する。

1 私達の黒山の昔穴 花いっぱい運動

- (1) 期日・場所等 平成26年7月8日(日)
- (2) 参加人数 江刺家小学校児童・教職員・保護者 九戸村文化財調査委員等 96名
- (3) 内容 カタクリの種の植種

2 黒山の昔穴遺跡調査活動

- (1) 調査指導 菊地強一氏(岩手県立大学非常勤講師 日本考古学協会員)
- (2) 事務局 九戸村教育委員会
- (3) 調査団 日向和彦 細川勇也
- (4) 調査協力 九戸村山岳会
- (5) 現状 所属する時代は、10C~12Cの防御性集落。
現時点の竪穴住居総数は926箇所、立地最高地点は折爪岳南尾根海拔780m
遺構調査により当時の人類活動の痕跡が広域火山灰との層序関係が把握でき、
C14年代と合わせ日本古代史の謎が解明されつつある。

3 文化財調査委員会議

- (1) 第一回九戸村文化財調査委員会議
平成26年5月14日 26年度文化・文化財関係事業について
- (2) 第二回九戸村文化財調査委員会議
平成26年7月8日 黒山の穴遺跡の調査活動進捗状況と今後の計画

■成果と課題

- ・黒山の昔穴遺跡と同様時期と思われる「くぼち・へこみ・遺構」調査を折爪岳南側の山頂付近から小倉岳まで実施し、その遺構を確認した。今後は、年代測定等、試掘調査を実施する。
- ・広範囲・数多くの遺構が確認された。専門家の指導を頂きながら、国庫補助事業により、国指定に目指し、計画的に試掘調査等を進めていきたい。

【学識経験者の意見等】

- ・評価する。目に見えない気の遠くなるような未知の部分だらけの解明に敬意を表する。
- ・調査に参加した一人として歴史への強い思いと共に国指定を目指すためにも村民への喚起と村民から盛り上がるよう運動展開も必要。
- ・花いっぱい運動も含めて、地域にPRしながら指定を目指してほしい。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】(4) 公民館運営の主要施策

① 生涯学習の推進 公民館の利用促進

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

- ・地域の活動の拠点となる公民館の効率的な管理運営を図りながら、村民の学習要求に応じた事業を企画し、生涯の各時期における学習機会を提供する事業を展開する。

■実施状況

1 推進体制の整備

社会教育委員会議 年2回 実施

2 公民館（H O Zホール）・開発センターの管理運営

	年間利用回数	施設利用者数
公民館	561回	19,775人
開発セ	760回	14,515人

3 公民館活動 学級・講座の開設

講座名	開設時期	開催回数	場 所	参加人数
書道教室	5月～2月	10	開発センター	のべ155人
料理教室（女性）	6月～2月	8	開発センター	のべ114人
着付け教室	5月～12月	9	開発センター	のべ80人
パッチワーク教室	5月～2月	10	開発センター	のべ65人
ボールルームダンス教室	6月～10月	10	開発センター	のべ73人
UVレジン教室	6月～8月	3	開発センター	のべ25人
舞踊教室	1月	4	H O Zホール	のべ69人
手作り伝承塾	12月～3月	15	開発センター	のべ77人
村民自主学习会支援		2	村内	のべ16人

■成果と課題

- ・各講座とも村民のニーズに応じた内容とするよう柔軟な運営に努めた。また、開催講座は、人数の過多にかかわらず開催し、村民個々の学習の必要性に応じて開催した。
- ・公民館利用者には、職員体制が十分整わず、快適な利用とならず不便をかけたこともあった。利用者の立場を意識した公民館運営に努めていきたい。

【学識経験者の意見等】

- ・評価する。講座の担当者は必死で、工夫し楽しくしようとしている。参加人数は問わない。少ないときもある。
- ・中身がすごく良いのをやられている。残念ながら職員の体制が十分整わなかった。講座の種類によっては、村民で教えられる人がまだいると思う。そういう人に依頼することも必要。
- ・公民館教室の講座の受講者がサークル活動を自主的に展開しているケース（コールはまなす、ソーシャルダンス等）もありとても喜ばしい。講座の参加について当初申込みの他一般公開講座などを開催してはどうか。参加者の固定化やマンネリ化には初心者コースを設けては。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】（４）公民館運営の主要施策

② コミュニティ活動の推進 地域公民館活動の支援

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

- ・地域の連携や相互扶助の意識を高めて住みよい豊かな村づくりを進めるため、村民憲章の実践活動を推進する。

■実施状況

1 村民憲章実践活動

(1) 主な事業活動

事業名	事業の概要	期日・場所	参加対象等
コミュニティリーダー研修会	部落公民館、村民憲章実践区リーダーを対象に研修会を開催した。	9月24日 一関市花泉町	リーダー 38人
村づくり推進の集い	村民憲章実践区代表が一堂に会し講演、事例発表を通じて交流した。 ・事例発表 「伊保内下地区」 ・講演 「人口減少問題にどう対応するか」 ・講師 岩手大学教育学部教授 広田純一 氏	2月1日 HOZホール	実践区 128人
花いっぱいコンクール	参加申込みにより現地審査を行い、村づくり推進の集いで表彰した。 ・最優秀賞 戸田館の下実践区 ・優秀賞 伊保内下実践区 戸田元村実践区	年間	参加団体 12団体
花とまちおこし運動先進地研修	豊かで住み良い地域社会の形成に向け、花とまちおこし運動の先進地を視察した。	11月22日 秋田県横手市	28人

(2) 実践活動等への助成

補助対象団体	団体数	金額	備考
九戸村民憲章推進実践協議会	1	80,000円	
各実践区（集落環境整備事業）	22	1,296,642円	
各自治会（住みたくなる地域づくり）	32	9,294,600円	

■成果と課題

- ・村民憲章関係事業の開催時期の遅れはあったが、それぞれの事業とも関係団体や参加者の協力により所期の目的を果たすことができた。次年度は、希望郷いわて国体を意識した事業としたい。
- ・村民憲章実践協議会等、各団体の実践課題や実践上の施設設備の充実など、個性・独自ある活動ができるよう助成した。

【学識経験者の意見等】

- ・評価する。予算がつけられ各自治区が頭を使い工夫できる。責任を持って実践することは良いことだ。
- ・花いっぱいコンクールはかなり前からやっているが、開催当初と比べてどうか。実際に地域での花壇づくりも大変という実感。継続して運動を盛り上げている実践区もあることだし、もう1回推進喚起をしてはどうか。
- ・花いっぱいコンクールの参加団体が減少していることが残念。部門を設けて、花づくりに取り組む意識を啓発してはどうか。学校部門、施設・事業所・個人・グループなどそういった部門でコンクール参加を呼びかけてみてはどうか。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】（４）公民館運営の主要施策

③ 読書運動の推進

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

・教養の向上と豊かな情操を培うため、読書活動を一層推進するための各種活動を展開するとともに、基盤となる蔵書の充実を図りながら利用者の利便性の向上に努める。また、各種行事の中に読み聞かせを取り入れるなど、村民が読書にかかわる機会を創出することにより、読書活動に自主的に取り組む環境づくりを進める。

■実施状況

1 読書環境・蔵書冊数等

区分	蔵書数	人口	一人当たり冊数	備考
公民館図書室	34,596冊	6,215人	5.57冊	

2 読書活動

事業名	事業の概要	期日・場所	参加対象等
読書感想文コンクール	読書感想文を村民から募集し、優良作品を表彰するとともに文集を発行した。 ・村長賞 戸田小4年 谷地海希風 ・教育委員長賞九戸中2年 中村偉織	募集期間 9月26日 ～11月28日	応募数 50点
読み聞かせと映画の集い	子どもを対象とした内容の映画会と読み聞かせなどを行い、村民が図書室を訪れる機会とした。	①11月2日 ②2月28日 HOZホール	親子等90人 親子等12人
みんなで読書わくわく大作戦	講演会読み聞かせ研修会などを行い、読書を機軸としたコミュニティの形成により地域の活性化を図った。 ・講演「読み聞かせってすばらしい」 ・講師 八戸短期大学准教授 三浦 文恵 氏	2月8日	①講演 47人 ②研修会 27人 ③映画会 18人 ④しおり作 18人
村民読書の日の実施	村民が読書に取り組む日を創出することで読書活動への関心と理解を深めるとともに、子どもたちが自主的に読書に取り組む環境づくりを進めた。	2月8日	「岩手の読書週間」中に期日を設定して実施した。

■成果と課題

- ・読書ボランティア「やまびこ」の協力のもと月一回、読み聞かせと映画会を組み合わせた読書に親しむ機会を設け、少人数の参加であったが言葉・映像をとおして、豊かな感性を磨くことができた。
- ・「村民読書の日」を設定し、村民の読書に親しむ醸成づくりに努めた。今後は、「村民読書の日」が根付くよう図書・読書環境を整えていきたい。

【学識経験者の意見等】

- ・評価する。児童の読書のきっかけの機会となっていると思う。
- ・読書ボランティア「やまびこ」はすごく頑張っている。
- ・読書は生涯学習のそして介護予防の最も大切なものの一つ。大人の絵本もある。伊保内高校の読書会活動を誇りに読書の村を進めていただきたい。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 (4) 公民館運営の主要施策
④ 結婚相談所の充実

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

- ・結婚相談所に配置した専任の相談員により、出会いの場の提供や結婚相談事業を積極的に推進し、結婚についての支援を強化する。

■実施状況

1 出会いの場の提供 () 村内在住者

イベント	期 日	場 所	参加者	マッチング数
いちご狩り & BQ	26. 5. 25	八幡平市 サラダファーム	男 14名(6) 女 13名(2)	4組
あまこん2	26. 9. 21	久慈市 三鉄貸切列車	男 15名(4) 女 11名(1)	4組

2 平成26年度相談・紹介状況

6件

そのうち1件 成婚

3 結婚相談所利用促進

- ・「結婚相談所」のお知らせ 九戸村HPと九戸村広報「お知らせ版」に掲載
- ・情報依頼 12月広報に掲載
- ・結婚応援隊 屋形場正蔵氏・上山昭一氏に依頼

■成果と課題

- ・出会いの場を提供し、県内外から多くの参加をいただいた。そのうち、8組のマッチングがあった。お付き合いが深まり、結婚・幸せにつながることを期待している。
- ・生活スタイル、仕事の環境の変化に伴い結婚に向けた出会いの場が少なくなっている。未婚者の情報をもとに、相談者には継続的にかかわっているが、相互の条件を整えるまでには、時間がかかる。今後は、現在2名の結婚相談員を伊保内・戸田・江刺家におき、情報収集を密にするとともに相談活動を充実させたい。

【学識経験者の意見等】

- ・評価する。全力投球推進。1組のカップルでもすごいことだと思う。
- ・いつの時代も難しい事業。いろんな形で開催し、出逢いの場づくりを継続するしかない。
- ・各事業所、各種団体等とも連携し、出逢いの場、共に活動する場を提供して欲しい。独身の男女といってもそこに行く積極的な人というのが中々いないので、結婚している人も含めて活動している中で、良い雰囲気になれるような場を提供していただくことも必要。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 (5) 生涯スポーツ行政の主要施策
① 推進体制の充実

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

すべての村民が生涯にわたり、明るく豊かな人生を送るために「村民1人1つのスポーツを」をスローガンに掲げ、日常のスポーツ活動を推奨し、スポーツの生活化を図るとともに学校、体育団体、地域との連携を深めながらスポーツ・レクリエーションの普及振興に努める。

■実施状況

1 指導者の養成

九戸村スポーツ推進委員を中心に地区の指導者等を各種スポーツの実技研修会へ派遣し、指導者の養成を図った。また、単位協会を中心にスポーツ教室を開催し、スポーツの普及と指導者の資質向上に努めた。

- (1) 九戸村スポーツ推進委員報酬 15人 360,000円
- (2) 東北地区スポーツ推進委員研修会 3人参加(山形県米沢市)
- (3) 岩手県スポーツ推進委員協議会市町村代表幹事会 1人(盛岡市)

2 実践団体の強化・育成

九戸村体育協会、地区体育振興会、スポーツ少年団等の活動に対し指導、支援を行った。

	補助団体名等	補助金
1	九戸村体育協会活動補助金	621,000円
2	県民体育大会等選手派遣補助金(8団体 137人)	320,000円
3	スポーツ大会開催補助金	240,000円
4	スポーツ少年団活動補助金(11団体)	275,000円
5	地区スポーツ振興業務委託料(6地区)	720,000円
6	村民体育大会開催業務委託料 (野球、卓球、バレーボール、ゲートボール、駅伝、綱引き)	266,000円
7	スポーツ・レクリエーション大会開催委託	174,000円
8	学校体育施設開放業務委託	562,000円

■成果と課題

- ・スポーツ指導員が、村内各種大会の運営に関わり、円滑な大会運営に大きく貢献している。引き続き、研修等を積みスポーツ指導員としての資質を高めていきたい。
- ・各団体とも、補助金を有効に活用し、歴史と伝統ある大会の開催や独自の活動を推進した。構成人数等、各団体で抱える個々の課題に対応・支援していきたい。

【学識経験者の意見等】

- ・評価する。各大会がスムーズに実施され、目に見えない効果があがっている。
例 参加者がいないと実施できない。
- ・それぞれの部門の推進員やそれぞれの地区の振興会の方々は、選手集めで各地区苦勞しているが、頑張ってもらいたい。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】	(5) 生涯スポーツ行政の主要施策 ② 実践活動の促進		
【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】			
■事業の概要	体育団体への委託開催を含め各種体育大会を主催し、体力づくりとスポーツ・レクリエーションの普及に努めた。		
■実施状況			
1 主な各種大会			
	大 会 名	期 日	参加人数
1	スポーツ・レクリエーション大会 (5種目)	26. 9. 6 9. 7	216人
2	家庭婦人バレーボール大会	26. 10. 12	84人
3	村民体育大会(6種目)	26. 7. 13 9. 21 11. 23	461人
4	九戸政実杯ゲートボール親善交流大会	26. 9. 23	163人
5	九戸政実杯グラウンドゴルフ親善交流大会	26. 10. 10	275人
6	はまなすカップ総合体育大会(5種目)	26. 4. 26. 27 26. 8. 23. 24.	春季 446人 秋季 429人
7	九戸村小中学校水泳大会	26. 8. 6	138人
8	九戸村小中学校スキー大会	27. 2. 14	61人
9	九戸村スキー選手権大会	27. 2. 22	74人
2 各種体育教室等の開催			
・ラジオ体操100日運動の実施	達成者	30名	
・トレーニング教室	参加者	34名	
■成果と課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・「村民一人一つのスポーツ」のスローガンの具現化のために、各世代が親しむ内容とした各種大会を開催し、多くの村民の参加を得ることができた。 ・村民体育大会は、歴史・伝統を踏まえ、その時の課題を解決しながら継続している。今後も、村民全ての方がスポーツを通してつながり、体力向上と豊かな生活を送るよう内容を工夫していきたい。 			
【学識経験者の意見等】			
<ul style="list-style-type: none"> ・評価する。大会実施には、たくさんの協力者が必要だと思う。スキー大会などはすごいこと。6位入賞まで賞状を貰えて喜んでいる。 ・スポーツというのは体力向上と合わせて人と関わることで、精神面でも効果があり、心身ともに健康になる。ただ参加することへの1歩のきっかけというのは大変だ。トレーニング教室の開催というのは良いことだと思う。 			

z 重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 (5) 生涯スポーツ行政の主要施策
③ 施設の整備・活用

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

・各種スポーツ教室やミニ大会などの自主事業を企画しながら、体育施設の利用促進に努めるとともに、地域スポーツの拠点として学校体育施設の開放を推進する。また、住民の意向を把握しながら体育施設の整備を促進し、既存の体育施設の改修や用具の充実に努める。

■実施状況

1 社会体育施設の利用状況

	施設名	利用件数	利用人数
1	九戸村体育センター	2,518 件	14,165 人
2	内訳・アリーナ	544 件	11,895 人
3	・トレーニングルーム	1,954 件	1,954 人
4	・ミーティングルーム	20 件	316 人
5	九戸村総合運動場	317 件	12,656 人
6	内訳・野球場	198 件	6,106 人
7	・陸上競技場	74 件	6,240 人
8	・クラブハウス	45 件	310 人
9	B & G 海洋センター	78 日	2,343 人
10	屋内ゲートボール場	92 件	3,852 人

2 社会体育施設の管理運営

(2)	体育施設運營業務委託	16,658,000 円
(2)	村営野球場芝生管理業務委託	1,695,600 円
(3)	消防設備保守点検業務委託	111,240 円
(4)	海洋センター上屋シート取付収納業務委託	200,000 円
(5)	海洋センターろ過機点検業務委託	36,720 円
(6)	野球場電気工作物保安管理業務委託	102,772 円
(7)	屋内ゲートボール場指定管理料	200,000 円
(8)	防火対象物点検委託料	64,800 円

3 社会体育施設備品購入

体育センター卓球台(3台)・卓球トレーナー(2台)購入 309,204 円

4 社会体育施設整備

(1)	野球場法面改修工事	572,400 円
(2)	野球場芝生増設工事	453,600 円

■成果と課題

- ・年間を通じて体育施設の効果的な運用に努めた。また、各施設の安全・保全に万全を期するため、各種業者に委託し定期点検を実施した。
- ・短期・長期の計画の基に、各施設の修繕・修理に努め、安全・安心の施設設備の中で、村民の利用を図るように努めたい。

【学識経験者の意見等】

- ・評価する。施設はなければ利用できない。ナインズ球場に児童がただただで感激する。
- ・来年の国体に向け、野球場の整備をすること。
- ・トレーニング機器の活用促進。イベント時に使ってはどうか、宣伝してはどうか。スポーツ推進員の協力が不可欠である。後は安全面の対策も必要。体力づくり、健康づくり、生涯学習、生きがい対策はいずれも介護予防にもつながると思うので、庁内他課との情報連携が必要である。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 (5) 生涯スポーツ行政の主要施策
④ 希望郷いわて国体の推進

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

・希望郷いわて国体九戸村実行委員会の国体開催方針に基づき、平成28年10月の軟式野球競技大会に向けた準備を進め、これを契機にスポーツ活動参加意識の向上を図る。

■実施状況

1 希望郷いわて国体九戸村実行委員会

(1) 第2回総会開催 27. 3. 24 実行委員 37名

(2) 主な内容 ・希望郷いわて国体開催準備経過
・平成26年度事業計画及び予算の専決処分に関し承認を求めること。
・希望郷いわて国体九戸村開催推進総合計画 等々

2 プレ大会開催 天皇賜杯第69回軟式野球大会ENEOSトーナメント岩手県予選

(1) 期日 平成26年7月5日(土) ～ 6日(日)

(2) 場所 九戸村ナインズ球場 7月5日 3試合実施
葛巻町総合運動公園野球場

(3) 九戸ナインズ球場参加チーム ①JAおおふなと ②阿部孝商店 ③東北銀行
④宮古信用金庫 ⑤一関信用金庫

(4) 九戸村独自の取組

・開始式 歓迎ダンス わんこきょうだいのうた ひめほたる子ども園
励ましのメッセージ 村内小学校

3 希望郷いわて国体に向けた醸成活動

(1) PR 駅伝活動 知事メッセージの受取 県庁走友会と教委職員が九戸村内をタスキでつなぐ

(2) 花いっぱい運動

4 ナインズ球場施設整備

(1) 野球場法面改修工事 572,400円

(2) 野球場芝生増設工事 453,600円

■成果と課題

・国体野球会場の中で、さきがけてプレ大会を開催した。村ならではの「おもてなしの心」をあらわす大会となるよう、子どもたちのメッセージやわんこダンス、花いっぱいを迎えることができた。本大会では全村民がかかわるようにしたい。
・施設関係は、全野連、県野連からの指摘・指導事項を受け、大会までに順次対応することと運営面は、村野球協会等と十分連携を図りながら対応していきたい。

【学識経験者の意見等】

- ・評価する。実施するからには全力推進を。
- ・来年の国体開催に向け、今から村民にも国体に対する関心を持ってもらえればいいのかと思う。村民が全員参加できるよう村独自の競技があってもいいと思う。地域全体でもいいと思う。何かでみんなが参加したという思いをしたい。
- ・村民あげての機運をどうにかして盛り上げてほしい。色々と国体版の広報みたいなものを出してくださっているのので、それらを含めて今後とも、頑張ってもらいたい。